

3 小学校におけるボランティアコーディネーターの学校支援活動

市内の62校の小・中学校では、学校のニーズや地域の実情に応じながら、多様な学校支援の活動に取り組んでいます。ここでは、学校のボランティアコーディネーターと学校支援センターが連携して行われた具体的な活動を紹介します。

1 町田市立町田第一小学校

町田第一小学校(田澤清英校長)では、ボランティアコーディネーターが配置されてから2年目になり、各学年担任から地域人材を学校に導入したいとの要望が寄せられます。しかし、市の中心部にある学校のため、古くからの住民は比較的低く、地域人材が見つかりにくい状況があります。

今年9月に、4学年の担任から、わらを使って昔の道具を作る授業を行いたいので、指導をお願いできる方がいないか相談を受けました。早速、ボランティアコーディネーターは地域で人材を探しましたが該当する方が見つからないので、学校支援センターに照会し、該当する指導が行える人材を見つけることができました。

その後、ボランティアコーディネーターは4学年担任と授業のイメージを話し合い、依頼内容を絞り込み、それを元に、4学年担任とボランティアの方との日程を調整し打合せの日時を決定し、教員と一緒に打合せに立ち会いました。

活動日の前日、ボランティアコーディネーターはボランティアと荷物の搬入等で駐車場の手配など細部の打合せをし、当日は準備、授業、片付けに立ち会いました。

授業終了後、校長室でボランティアの方の感想等聞きながら対応し、その内容を4学年担任に伝えました。

後日、ボランティアコーディネーターはボランティアグループに感謝の電話を入れ、4学年担任と打合せの上、児童の礼状をまとめ、活動の様子を伝える模造紙2枚の掲示物をボランティアグループに送付するとともに、学校支援センターに実績の報告を行いました。



【わらを配るボランティアの方】

2 ボランティアコーディネーターを支える学校支援センターの活動

町田第一小学校ボランティアコーディネーターから要請を受けた学校支援センターは、人材登録データベースで検索するとともに、連携団体のシルバー人材センター、JA町田、市内ボランティアグループに人材がないか問い合わせをしました。市内のボランティアグループが指導できるとのことだったため、ボランティアコーディネーターに連絡先等を伝え、具体的な実施に向けてのコーディネート業務を引き継ぎました。

当日は、学校支援センターから授業の様子を取材に行きました。このような各学校の活動実践を、市内の学校等に発信しています。



【体育館いっぱいひろがって】

3 本事業の実施に関する関係者の反応

この活動を実施した関係者の方々の意見ですが、校長先生からは、「教員は、地域の人を授業に入れることに最初は戸惑ったかもしれないが、続けてきたことによって良さを感じてきている。児童は、ボランティアの方に知識や技術を教えてもらうだけでなく、ほめられたり励まされたりしながら心がつながっていく経験もしている。」との声があげられ、「今後、更に開かれた学校・学級にするために、計画的に地域の方を活用していきたいと考えています。このような取組が単発ではなく継続して出来るよう、ボランティアコーディネーターには期待している。」とのことでした。

ボランティアコーディネーターからは、「多くの方々に同時に指導していただくため、ボランティアの確保に苦労しましたが、子供とボランティアの方との関わりが深まったことが良かった。」また、担任の先生からコーディネーターに対して、「ボランティアコーディネーターがいなかったらこの授業は出来なかったね。」と言われたことがとてもうれしいとの感想でした。



【ボランティア・ボランティアコーディネーター】

町田市では、これまでの取組の成果や課題等を整理しながら、
来年度以降もこれまでの学校支援の活動が維持・発展
できるように計画を進めていく予定です。